

5. エネルギーレベルの復元、活性化

細胞は24時間、エネルギーであるATPをミトコンドリアで電気エネルギーを利用して生産しているが、常にこぼれ出た電子を酸素が結びついて副産物である活性酸素を生成している。

ミトコンドリアはエネルギーの製造工場であるが、そこでできた廃棄物を処理する抗酸化物の1つがグルタチオンである。

このグルタチオンは主に肝臓で作られているが、年齢と共に産生が低下していきミトコンドリアが発生した活性酸素を処理できなくなる。

そのままではミトコンドリアも細胞も損傷して細胞死に追いやられるが、グルタチオンを投与することにより、より多くの活力とパワーを提供することで、低下したエネルギーレベルを上昇させて、老化や激しい運動にも耐えられる体力をつける。